質疑・回答書

告示番号	第188号	件 名	豊中市伊丹市クリーンランド余熱利用施設解体工事
No	質疑事項	回 答	
1	発注仕様書p.12の図3にて、掘削した汚染土は適正処理を行う旨が示されていますが、処理の内容は、p.18の「3.9 廃棄物処分方針」の「2)処理処分方法」に記載された「場外処理・処分」との理解で宜しいでしょうか。	解体工事により生じた汚染土壌は、積算上は場外での適正処理を想定しています。	
2	(上記に関連し、)「場外処理・処分」を行う場合、対象土量は、図3に従って掘削した汚染土の全量との理解で宜しいでしょうか。また、処理対象の具体的な土量のご教示は可能でしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・お見込みのとおりです。 ・数量は提供した図面と特記仕様書から算定してください。 	
3	発注仕様書p.15の「3.5 解体工事(GL以深の構造物)」の(1)にて、「土壌汚染調査の結果によっては、土対法上の手続きを行う必要がないエリアが生じる可能性がある。」と記載されています。これは、「ある区画の調査結果が全て基準適合の場合、当該区画は土対法14条の区域指定申請から除外する。」との意味合いと推量しますが、その理解で宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。	
4	仮に、上記に従って、工事範囲に区域指定されない区画と指定された区画とが混在するような状況に至った場合は、土対法上、現場作業の効率性が低下し、費用が嵩む状況になると思料します。見積に際し、区域指定の状況をどのように想定したら良いでしょうか。調査結果の如何に拘わらず、全ての区画を区域指定するとの前提にて見積りしても宜しいでしょうか。ご教示お願いします。	設計書においては、本工事対象エリア全体を土壌汚染対策法の適用エリアと想定しています。	
5	地下部の施工に制約が掛かる土対法14条の区域指定の申請から11条(又は6条)による区域指定までの期間について、どの程度を見込んだら宜しいでしょうか。	貴社の経験などから所用期間などを見込んでください。	

6	発注仕様書p.35の「調査地点図」によれば、西側道路に位置する5区画は、p.10に示された解体範囲の外に位置します。この部分は、土壌調査のみを実施するとの理解で宜しいでしょうか。	ご指摘の5区画は、西側道路のほか、本工事対象区域を含んでいます。
7	発注仕様書p.12の図3にて、「地下室がある建築物」で設置する「モニタリング設備」は、p.16に記載の1号マンホールと思料します。設置総数についてご教示願います。また、本工事では設置のみで地下水モニタリングは範囲外との理解で宜しいでしょうか。	当該地下水モニタリング設備は、合計2基を設置することとし、本工事では設置のみとします。
8	発注仕様書p.12の図3にて、「地下室がある建築物」で敷設する遮水シートについて、敷設総面積をご教示願います。	提供した図面と特記仕様書から数量等を積算してください。
9	設計書の明細書等の数量がわかるものの提示は可能でしょうか。	同 上
10	経費工種についてご教示下さい。	公共建築工事積算基準における改修建築工事によるものです。